

改正3. 技術提案の普通評価の見直し

1. 技術提案の評価方法

- ◆ 技術提案について、発注者が工事内容や現場条件を考慮し、良(加点)、普通(加点なし)、不採用(×)の3段階で評価しており、標準的な提案や効果が小さい提案は普通評価として、ガイドラインで公表している

2. 普通(加点なし)評価の課題

人員や機械の追加増員に関する提案
安全監視の人員や船舶は普通評価として公表しているが、作業のため人員・機械を増員した場合の取り決めがない

- 近年は、担い手不足に対応するための省力化や生産性向上が求められており、人員や機械の増員(増台)といった提案を普通評価に追加する

3. 普通評価の見直し内容

長崎県建設工事総合評価落札方式ガイドラインに以下の内容を追記
普通(加点なし)の内容 ()書きは判断理由

- 1) 標準と同等の手法(通常対策)
- 2) 品質向上の効果が小さい、又は標準的手法と同程度(効果小)
- 3) 手法、効果の記載が不足(手法不明又は効果不明)
- 4) 提案内容が不明確で、良否の判断ができないもの(手法詳細不明)
- 5) 提案内容が評価内容に合致しないもの(着目点不可)
- 6) 提案内容の着目点と手法又は効果が合致しないもの(着目点・手法・効果の相違)
- 7) 提案内容が関係機関等との協議が必要と思われるもの(協議提案)
- 8) 提案内容が人員・機械の単純増員の提案であるもの(過大提案) 単純な増員を普通評価に追加

改正3. 技術提案の普通評価の見直し【参考資料】

参考1 令和8年からの普通(加点なし)評価の一覧

共通と陸上・海上工事を統合

工種	評価しない提案内容	備考(理由)		
共通	共通(一般)	人員や機械の追加配備	作業員・監視員や施工機械の単純増員による対策であるため	
	共通 (コンクリート工)	単位水量の測定	施工管理基準(品-4)(基準以上の設定は効果が小さい。)	
		コンクリート打設時間の短縮	共通仕様書(5-6-4)(基準以上の設定は効果が小さい。)	
		コンクリート打設時の再振動		
		コンクリート技師及びコンクリート主任技師の配置	通常(コンクリート製造段階において配置しなければならない)	
		差筋への防錆対策	効果小(強度に影響がないため)	
		鉄筋への防錆対策(防錆材の塗布)	効果小(コンクリート打設後に発錆及び錆が進行することがないため)	
		養生期間の延長	基準以上の養生期間の確保は効果が小さい	
		コンクリートの締固めに用いる内部振動機の機種及び作業に関する提案	通常の内部振動機では施工が困難な場合を除く	
		コンクリート表面気泡除去機材(ピカコン)の使用	通常(一般的に使用)	
		コンクリートの材料、混和材、配合に関する提案	過度な品質・性能を実現するために高価な材料の使用に繋がる恐れがあるため	
	ガラス繊維ネットの設置(ハイパーネットなど)	技術の認知度が高く、活用例が多い技術と判断するため		
	共通 (環境)	掘削作業中の散水作業(機械散水含む)		
		環境対策型の型枠剥離材	通常(一般的に使用)	
		仮設道路・仮設ヤード等における仮舗装及び敷き鉄板等の覆工の設置	必要に応じ設計計上すべき事項であるため	
共通 (安全管理)	通信機器による現場連絡体制の確保	通常(一般的に使用)		
	関係者への定期的な工事内容の周知	通常(一般的な手法)		
	電光掲示板(LEDを含む。)の設置	通常(一般的に使用)		
	交通誘導警備員の追加配置	削除 共通へ統合	関係機関等との協議により、必要に応じ設計計上すべき事項であるため	
共通 (品質管理)	吊具による製品の損傷防止	通常(製品を移動させる際に傷まないようにするのは受注者の責務)		
	機器による測定の評価	機器の機能と現場での使用目的が合致しない場合は評価しない。		
陸上 工事	建築	コンクリート養生期間中の作業中止期間の延長	公共建築工事標準仕様書(6.7.3)(仕様以上の作業中止期間の延長は効果が小さい。)	
		星形スペーサーの使用	通常(一般的に使用)	
	土木・建築	ノロ止めテープの使用		
	安全管理	電光掲示板(LEDを含む。)の設置。	通常(一般的に使用)	
		誘導員の追加配置	削除 共通へ統合	通常(自社の安全管理として必要とする場合(ダンプトラック出入口など)の配置は評価しない。)
		自動音声装置の設置	通常(自社の安全管理として必要とする場合(ダンプトラック出入口など)の配置は評価しない。)	
	過度な安全管理施設等の設置(チューブライト等)	必要以上の対策と判断される安全管理施設等は評価しない		
海上 工事	共通	気象・海象情報の入手		
		作業中止基準以上の設定	共通仕様書(1-1-44)(基準以上の設定は効果が小さい。)	
	安全管理	赤旗、植竹、ブイ、灯浮標を使用した作業区域の明示		
		トランシーバー・衛星電話・携帯・無線連絡システムを活用した現場連絡体制の確保	通常	
		定期船の入出港前後の作業中止	通常(定期船への配慮は事前協議で決定)	
		作業船係留常設アンカーの設置	通常(一般的な手法)	
		監視員の配置	削除 共通へ統合	海上工事において陸上からの監視員は評価しない。
	安全監視船の追加配備		関係機関等との協議により、必要に応じ設計計上すべき事項であるため。	
基礎工・その他	GPS等による位置出し作業			
基礎工(地盤改良)	施工途中における施工機械のキャリブレーションの実施			